

【土木部】令和8年度当初予算 予算見積総括表

令和8年度予算の基本方針

土木部では、県民の安全・安心の確保と、地域の活力の増進を図り、県民が将来に希望をもって暮らせる「安全・安心な高知」を実現するため、①南海トラフ地震対策の推進、②豪雨等災害対策の推進、③産業振興や安全・安心に繋がるインフラ整備の推進、④既存インフラの有効活用と計画的な維持管理・更新、⑤元気な未来創造戦略施策（人口減少対策等）の推進、⑥デジタル化・グリーン化・グローバル化の推進、の6つの基本方針により予算を編成。

一般会計

令和8年度予算見積額	71,841,032 千円
令和7年度当初予算額	68,656,731 千円
差引増減額	3,184,301 千円
対前年度比率	104.6 %

土地取得事業特別会計

令和8年度予算見積額	1,208,119 千円
令和7年度当初予算額	1,290,972 千円
差引増減額	▲ 82,853 千円
対前年度比率	93.6 %

（注）上記には、人件費を含まない。

港湾整備事業特別会計

令和 8 年度予算見積額	491,613 千円
令和 7 年度当初予算額	497,256 千円
差引増減額	▲ 5,643 千円
対前年度比率	98.9 %

流域下水道事業会計

令和 8 年度予算見積額	2,512,643 千円
令和 7 年度当初予算額	2,687,015 千円
差引増減額	▲ 174,372 千円
対前年度比率	93.5 %

(注) 上記には、人件費を含まない。

【土木部】令和 8 年度当初予算 主な新規・拡充事業一覧表

※ () 内は一般財源

新規 人口減少 デジタル

創造枠

① 建設業デジタル化加速モデル事業

50,000千円(14,700千円)

建設業のデジタル化による生産性向上とともに、魅力ある現場環境を創出するため、県内建設事業者のレベルに応じたモデル工事を実施

■モデル区分と実施予定件数

- 1)ICT内製化フルサポートコース：3件
- 2)遠隔施工実証モデルコース：2件
- 3)複雑多様な現場へのICT活用コース：3件

■期待される効果

ICT活用による有効性の検証や課題のあぶり出しを行うことで、デジタル化が進む建設業の魅力PR、新規入職者の確保等につなげる

新規 人口減少

創造枠

② 家財道具の処分促進による活用可能空き家の増加事業

22,435千円(22,435千円)

空き家流通の円滑化を図るため、「空き家にしておく理由」トップである家財道具の処分を県民の関心を集めながら促進

■事業の概要

「片付けセミナー」及び「お宝鑑定イベント」を開催

■期待される効果

家財道具の処分を促進することで、空き家流通における課題の解決による空き家活用数の増加及び県民への普及啓発を図る

拡充

③ 四国 8 の字ネットワークを構成する道路整備（県事業）

3,559,162千円(221,200千円)

産業振興や観光振興に寄与するとともに、災害発生時の「命の道」となる四国 8 の字ネットワークを構成する道路整備を推進

■主な拡充内容

国道493号（奈半利インター工区）において、奈半利インターチェンジへのアクセス道路の整備に向けた調査設計に着手

拡充

④ 緊急輸送道路等における防災対策

2,189,684千円(91,598千円)

災害発生時の道路寸断を防ぐため、緊急輸送道路及び啓開道路上における橋梁の耐震化や道路の法面防災対策を加速

■主な拡充内容

第1次国土強靱化実施中期計画を踏まえ、橋梁の耐震化等へ重点的に予算を計上するとともに、道路の法面防災対策を加速するための県単事業を創設

新規

⑤ 水道管路耐震化推進補助金

57,000千円(57,000千円)

水道管路の耐震化を促進するため、国の耐震化事業の補助要件を満たせない市町村に対して、県単補助を創設

■補助先 : 国の耐震化事業の補助要件を満たせず、老朽化対策事業を活用している上水道事業者

■補助率 : 1/12（耐震化事業1/3と老朽化事業1/4の差額）

■期待される効果：上水道事業者を支援することで、水道管路の耐震化を促進

拡充 グリーン

⑥ 高知駅大屋根照明LED化事業

45,019千円(2,308千円)

脱炭素化の推進と設備の長寿命化を図るため、高知駅大屋根における照明設備LED化を実施